

Press release

2020年1月23日

リフィニティブ、サステナブルファイナンス向けデータ活用を促進 フューチャー・オブ・サステナブル・データ・アライアンスを設立 世界経済フォーラムや国連、国際金融協会などが創設メンバー

ダボス/ロンドン/ニューヨーク/シンガポール発 - 世界有数の金融データプロバイダーであるリフィニティブは、そのデータとインサイトを通してポジティブな変化を推進するというコミットメントに基づき、以下のメンバーと連携してフューチャー・オブ・サステナブル・データ・アライアンス（以下、アライアンス）を設立したと発表しました。

創設メンバーには、世界経済フォーラム、国際連合、国際金融協会 (IIF)、公的通貨金融機関フォーラム (OMFIF)、清華大学、アジア証券金融市場協会 (ASIFMA)、グローバル金融市場協会 (GFMA)、気候債券イニシアチブ (CBI)、FinTech4good、Everledger、国際環境経済研究所 (IPE)、BMCE Bank of Africa、GolImpact、その他の団体・企業が含まれます。このアライアンスの目的は、持続可能な金融向けの資金移動を加速させることです。2030 アジェンダを追求する上で、投資家および政府は、持続可能な投資および製品に関する規制当局および顧客双方の要件を満たすために、どのようなデータを必要としているか - という課題の解決に、アライアンスは取り組んでいきます。

アライアンスでは、投資家が持続可能な投資に関する意思決定を行い、国連の持続可能な開発目標に積極的に貢献するためには、基本的な ESG データへのアクセスと追加的な代替データセットが重要な推進要因とみなされています。

気候変動と国連の持続可能な開発目標 (SDGs) は、持続可能な金融に向けた動きを加速させ続けていますが、その影響を定量化、測定、比較するための情報はまだ初期段階にあります。官民を問わず、企業はこうした情報の追跡、管理、ステークホルダーへの報告に関する開示基準を求めています。実用的なデータと基準が不足しているため、資本市場は持続可能性への配慮を十分に理解し統合することができず、その結果、非効率的で、時には環境面また社会面で有害な活動やプロジェクト、および資産への資本配分を招く状況にあります。持続可能な投資判断を行い、国連の持続可能な開発目標に積極的に貢献するためには、基本的な ESG に関するオルタナティブ (代替) データが必要とされています。アライアンスは、現在および将来必要となるデータを特定し、統合することを目的に設定しています。

リフィニティブのデイビッド・クレイグ CEO は、次のように語っています。「国連の持続可能な開発目標に資金を振り向ける必要性は喫緊の課題であり、資金調達への必要性はとても大きい状況にあります。今日、多くの資産運用担当者は、人口動態の変化、気候変動、世界市場の変化への対応など、大きな変化の資金調達に役立つ十分なデータがないと指摘しています。それゆえ、ESG を理論からより実践に近づけることが重要です。リフィニティブ

©2020 Refinitiv. All rights reserved.

Refinitiv および Refinitiv ロゴは、Refinitiv の商標であり、登録商標となっています。

本書に言及される第三者の名称又はマークは、当該第三者に帰属します。

[Refinitiv.com](https://www.refinitiv.com)

Press release

「ブは、フューチャー・オブ・サステナブル・データ・アライアンスの創設メンバーであることを誇りとし、持続可能な開発目標への資金供給に必要なデータを投資家に提供すると約束します。」

「気候と環境に関するデータを意思決定に役立つ形で資本市場に組み込むには、標準化が必要です。標準化とイノベーションへの支援と協力を強化することで、投資家は、次のような方法で投資を調整し、受託者責任を果たすために必要なガイダンスとツールを得ることができます。その方法とは、まず、持続可能性とパフォーマンスに関するより質の高い、より広く入手可能なデータ、2つ目の点は、人工知能と機械学習の出現による優れたデータ分析、最後に、戦略的回復力に関するより多くの情報に基づく判断です。」

このアライアンスは、今後数カ月の間に、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) が対象とする分野において深い専門知識を有する様々なステークホルダー・グループを含む形で拡大すると期待されます。アライアンス創設は、国連事務総長の「持続可能な開発目標のデジタル資金調達に関するタスクフォース」および「ファイナンスの未来」報告書と、リフィニティブが連携したことに触発されたものであり、その報告書は、信頼性の高い ESG データと持続可能な開発目標インパクト・データの入手が、持続可能な開発目標投資を加速させる為には、不可欠であることを示しています。

世界経済フォーラムの金融・通貨システム・イニシアチブ責任者のマシュー・ブレイク氏は、次のように語っています。「データへのアクセスは、低炭素で持続可能な経済への転換において中心的な役割を果たします。企業は、基本的な ESG データにアクセスすることによってのみ、情報に基づいた持続可能な投資に関する意思決定を行い、国連の持続可能な開発目標を遵守することができます。必要とされる商品が構造化され、広く利用可能になるのを確実にするため、フューチャー・オブ・サステナブル・データ・アライアンスが、この重要な役割を担うために設立されたことを歓迎します。」

国際金融研究所 (IIF) のティム・アダムズ所長は、次のように述べました。「国連の持続可能な開発目標に定められた野心的な目標を達成するには、持続可能なプロジェクトのために何兆ドルもの資金を投入する必要があります。現在、世界の富は 300 兆ドルを超えていますが、この資金プールを活用するには、質が高く、アクセス可能で、実用的なデータが不足しているなどの障害が存在します。フューチャー・オブ・サステナブル・データ・アライアンスは、これらの障壁を取り除き、持続可能な開発目標のための資金調達を拡大するための重要なステップです。」

昨年、リフィニティブは持続可能な開発目標を支援するいくつかの誓約を行いました。現在、リフィニティブは、カーボンニュートラルで、再生可能エネルギーを100%使用しています。私たちの次世代の持続可能性目標は、温室効果ガス排出量の目標と情報開示をさらに強化するものであり、今後も事業全体のあらゆる気候リスクと機会を確実に評価していきます。

リフィニティブは、インサイトをもたらす、情報に基づいた意思決定を促進するために、データの力を活用することに取り組んでいる持続可能な開発目標のデジタルファイナンスに関する国連タスクフォースの戦略的パートナー

Press release

です。国連グローバル・コンパクトのメンバーとして、リフィニティブは、135カ国・地域にまたがる9,000以上のビジネスコミュニティの一員であり、責任あるビジネス慣行によって運営されることを公約しています。リフィニティブは、持続可能な金融に関する専門家グループ(TEG)のメンバーでもあり、他の民間セクターの専門家とともに、持続可能なアジェンダについて欧州委員会に助言しています。

リフィニティブは前身の時代を含めて15年以上にわたり、完全に統合された客観的なESGデータとソリューションを、金融業界に提供してきました。投資家や企業から信頼される完全に透明なリソースを提供して、ポジティブな影響をもたらし、より多くの情報に基づいた投資判断を行っています。

フューチャー・オブ・サステナブル・データ・アライアンスの詳細については、こちらを参照ください。:

<http://futureofsustainabledata.com/>

以上

注)本稿は、2020年1月22日発表された英文プレスリリースの抄訳です。内容に相違がある場合にはリフィニティブのグローバルサイトに掲載されている原文が優先します。

リフィニティブについて

Refinitiv(リフィニティブ)は世界有数の金融市場データのプロバイダーで、約190カ国で4万社を超える企業・機関にサービスを提供しています。先導的なデータとインサイト、トレーディング・プラットフォーム、市場データ・インフラストラクチャー、オープン・テクノロジー・プラットフォームを通じて、世界の金融市場コミュニティを相互に接続し、発展を支えます。それによりトレーディング、投資、ウェルスマネジメント、規制およびマーケットデータ管理、企業が抱えるリスク、金融犯罪追跡などの分野において進化をもたらす先駆者としての役割を果たしていく所存です。詳しくはウェブサイトをご参照ください。<https://www.refinitiv.com/ja>

本件に関する連絡先:

藤森 英明

PR 部門

電話番号: (03) 6441-1504

携帯番号: (070) 4373-1566

H.Fujimori@refinitiv.com

Lemuel Brewster

Senior PR Director

Office +1 (646) 223-5147

Mobile +1 (917) 805-089

Lemuel.Brewster@refinitiv.com

©2020 Refinitiv. All rights reserved.

Refinitiv および Refinitiv ロゴは、Refinitiv の商標であり、登録商標となっています。

本書に言及される第三者の名称又はマークは、当該第三者に帰属します。

Refinitiv.com